



KONICA MINOLTA

白地作成ツール ユーザーズマニュアル

Digital Konsensus Premium 用

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

目次



1	動作環境	P.3
2	インストール	P.3
	1. 新規インストール	P.3
	2. 再インストール	P.4
3	作業の流れ	P.6
	1. 全体の流れ	P.6
	2. 白地着色の流れ	P.6
	3. 白地微着色《用紙選択》の流れ	P.13
	4. 白地微着色《用紙測定》の流れ	P.14
4	画面	P.16
	1. メイン画面	P.16
	2. 微着色設定画面	P.19
	3. 振り幅設定画面	P.20
	4. 環境設定画面	P.21
	5. カラコレテーブル名入力画面	P.22
	6. 中心値編集画面	P.22
	7. 作業ファイルメンテナンスツール画面	P.23

1 動作環境

OS	Windows 7、Windows Vista、Windows XP（Service Pack 2 以上） ※32bitOSのみ対応
CPU / メモリ	OS が推奨する環境以上
HDD 必要容量	10MB 以上
画面解像度	800 × 600 ピクセル以上
対応測定器	i1、X-Rite 508/528/530、X-Rite DTP41
シリアルポート	USB または RS-232C i1 使用時は USB ポート、X-Rite 系使用時は RS-232C ポートが必要

2 インストール

1. 新規インストール

- ① 白地作成ツールを使用する WinOL システム上に
白地作成ツール『インストーラ』フォルダをコピーして下さい。
- ↓
- ② 『Setup.exe』  をダブルクリックして下さい。
Setup.exe
- ↓
- ③ 『InstallShield ウィザード』に従い、使用許諾契約に同意をして下さい。
- ↓
- ④ インストール先を指定して下さい。
- ↓
- ⑤ インストールが開始します。
- ↓
- ⑥ インストール完了後、
デスクトップ上に『白地作成ツール』アイコン  が作成されます。
- ↓
- 終了


2. 再インストール

Windows OS 上の「プログラムの追加および削除」機能では、『変更』および『修正』は絶対に行わないで下さい。『削除』（アンインストール）のみを使用して下さい。『変更』および『修正』を行う場合は、本アプリケーション上のインストーラーを必ず使用して下さい。

① プログラム修正の場合

① 白地作成ツールを使用する WinOL システム上に
白地作成ツール『インストーラ』フォルダをコピーして下さい。

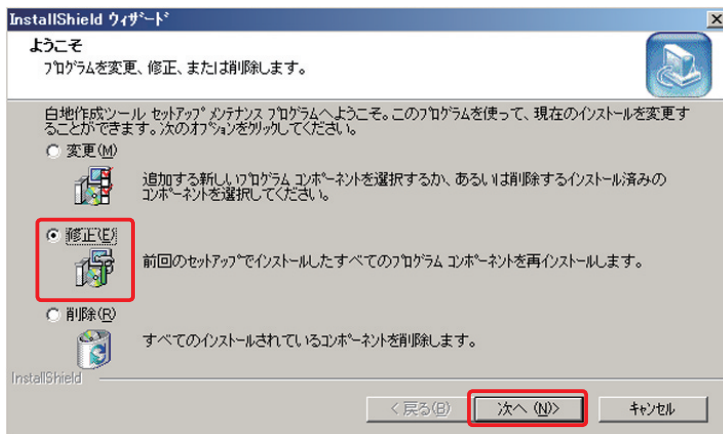


② 『Setup.exe』  をダブルクリックして下さい。

Setup.exe



③ 「InstallShield ウィザード」 - 「ようこそ」 ウィンドウにて『修正』を選択し、『次へ』ボタンを押して下さい。




④ 再インストールが開始します。



終了

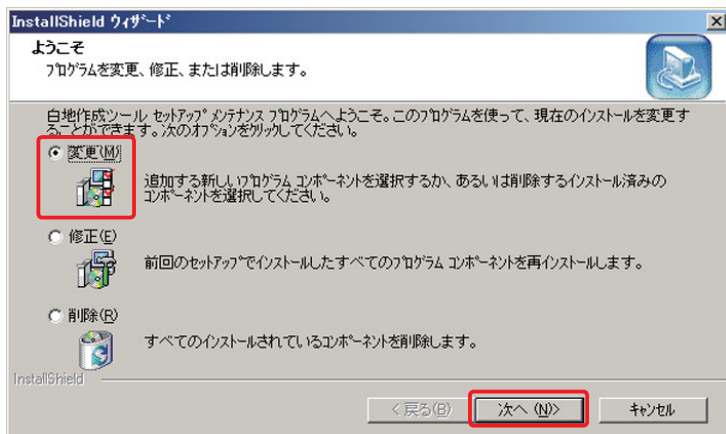
② プログラム変更の場合

- ① 白地作成ツールを使用する WinOL システム上に
白地作成ツール『インストーラ』フォルダをコピーして下さい。

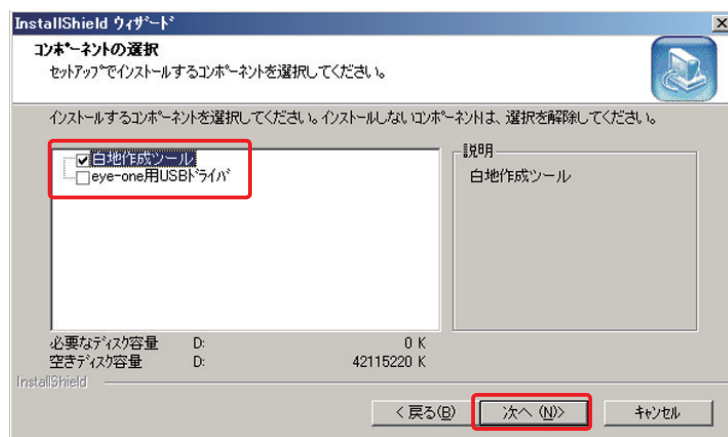
- ↓
② 『Setup.exe』  をダブルクリックして下さい。

Setup.exe

- ↓
③ 「InstallShield ウィザード」 - 「ようこそ」 ウィンドウにて『変更』を選択し、
『次へ』 ボタンを押して下さい。



- ↓
④ 「InstallShield ウィザード」 - 「コンポーネントの選択」 ウィンドウにて、
インストールするコンポーネントの選択し、『次へ』 ボタンを押して下さい。



- ↓
⑤ 選択したコンポーネントのみ、再インストールが開始します。

↓
終了

3 作業の流れ

1. 全体の流れ

① 白地の測定／選択（白地作成ツール）



② カラコレテーブル作成（白地作成ツール）

白地作成ツールと OL System は同一 PC 内のソフトウェアです。



③ パッチの出力（OL System）



④ 出力結果の確認

適合点がない場合は調整を行い③ - ④を繰り返します。

※白地によっては適合できない場合があります。



⑤ カラコレ値の移植（白地作成ツール ⇨ OL System）

決定した適合点の値をカラコレテーブル作成ソフト（Colorcontrol - CC / ST / DT / グループ編集の白地設定）に値を移植し、白地登録を行います。



終了

2. 白地着色の流れ

① 白地の測定

① デスクトップの『白地作成ツール』アイコン



をダブルクリックし、

白地作成ツールを起動して下さい。

②【着色方法＞白地着色】を選択して下さい。

白地作成ツール

ファイル(F) 設定(S) ツール(T) ヘルプ(H)

カラコレテーブル名

着色方法: ☒ 白地着色 ☐ 白地微着色 測定器: [11] キャリブレーション

用紙測定: 測定回数 [3回] 測定 未測定

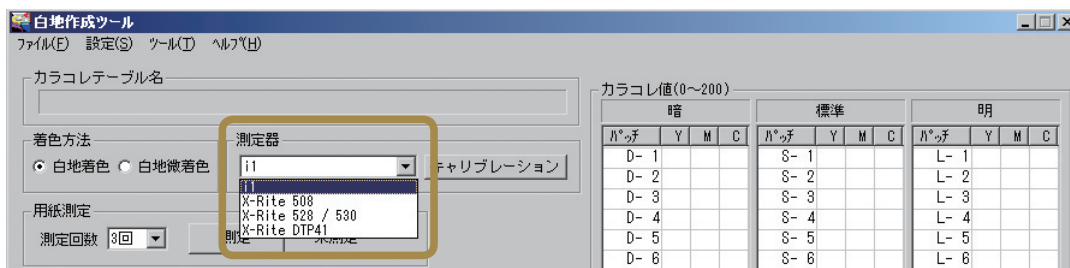
白地作成: チャート用カラコレテーブル作成 中心値編集 編集内容のリセット

カラコレ値の振幅設定: 標準と明、暗の差 [3] 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 規定値

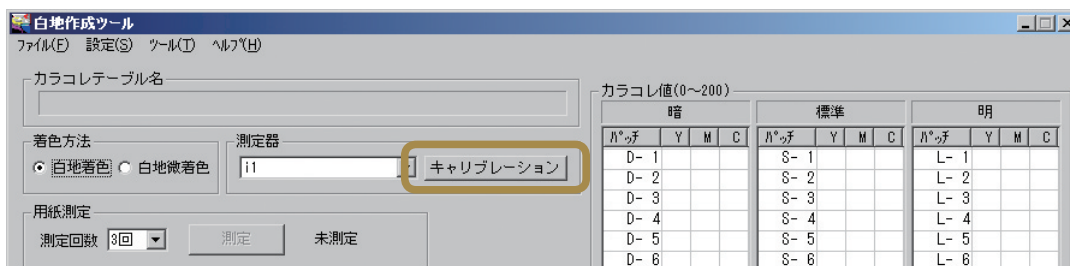
パッチ間の差 [3] 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 規定値

暗				標準				明			
パッチ	Y	M	C	パッチ	Y	M	C	パッチ	Y	M	C
D-1				S-1				L-1			
D-2				S-2				L-2			
D-3				S-3				L-3			
D-4				S-4				L-4			
D-5				S-5				L-5			
D-6				S-6				L-6			
D-7				S-7				L-7			
D-8				S-8				L-8			
D-9				S-9				L-9			
D-10				S-10				L-10			
D-11				S-11				L-11			
D-12				S-12				L-12			
D-13				S-13				L-13			

3 【測定器〉プルダウンメニュー】より、使用する測定器を選択して下さい。



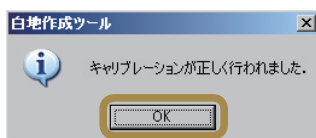
4 測定器のキャリブレーションを行います。 【測定器〉キャリブレーション】 ボタンを押して下さい。



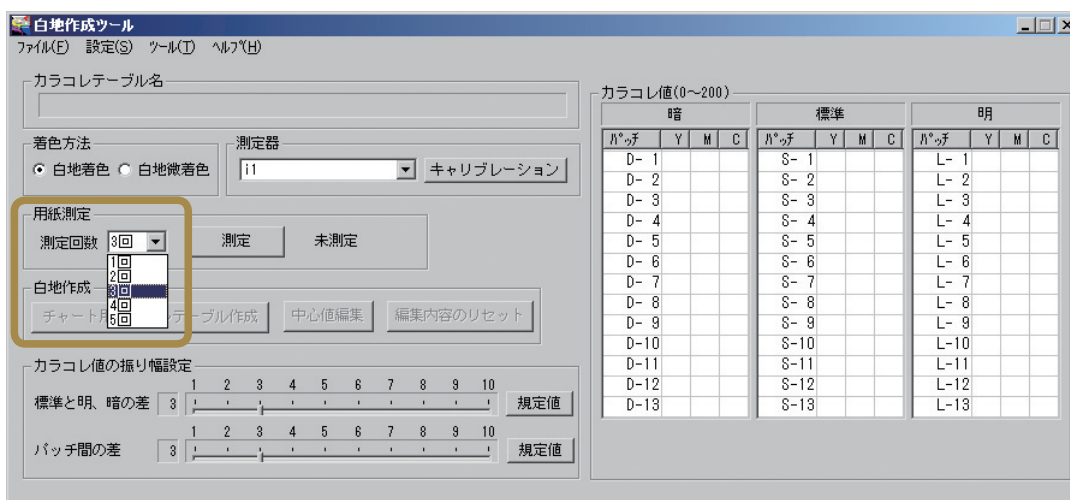
5 白板上に測定器を押し当てて【OK】 ボタンを押して下さい。



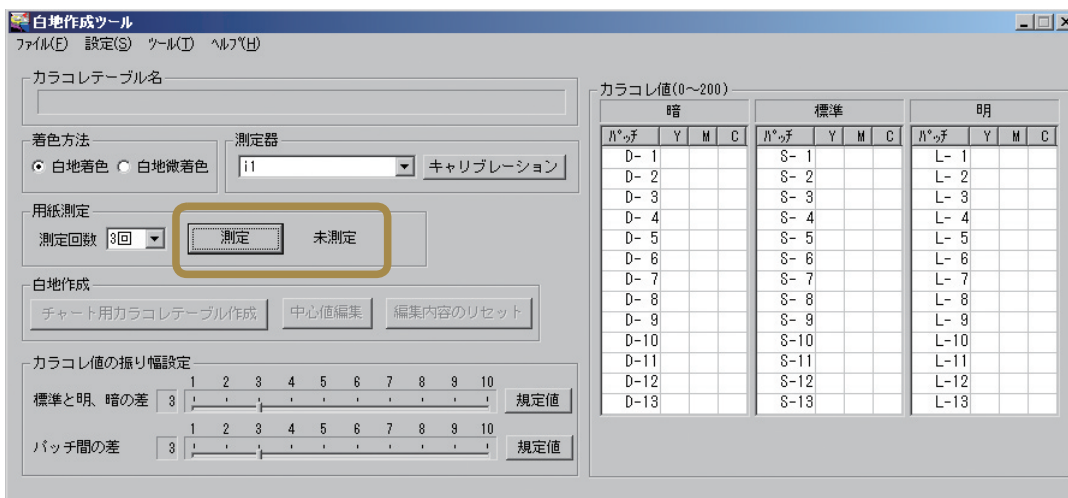
6 キャリブレーションが行われました。【OK】 ボタンを押して下さい。



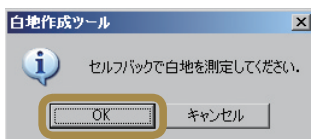
7 【用紙測定〉測定回数プルダウンメニュー】より測定回数を選択して下さい。 カラコレ値（微着色係数）の計算は測定回数の平均値より計算します。



8 測定を行います。【用紙測定】測定 ボタンを押して下さい。

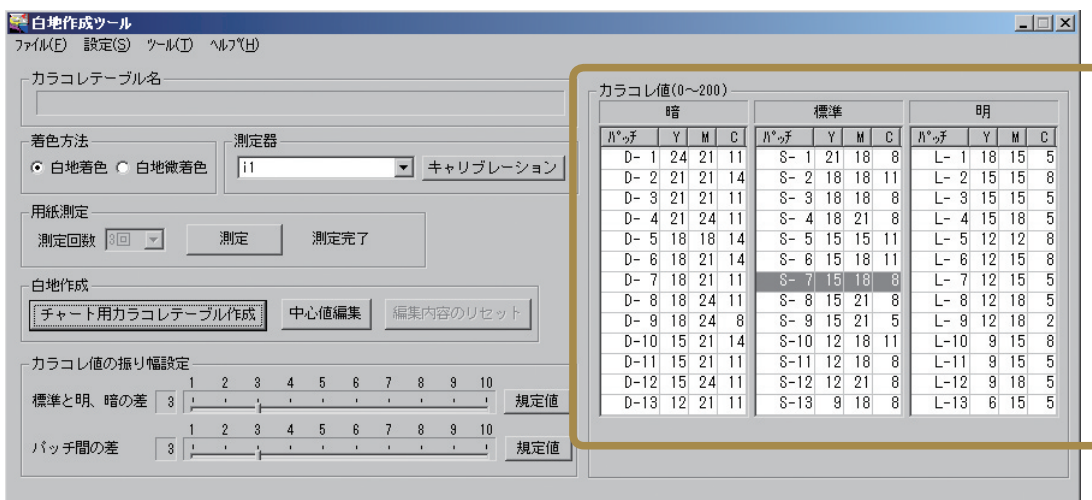


9 測定時のセルフバックは白地で行います。 準備ができましたら【OK】 ボタンを押して下さい。



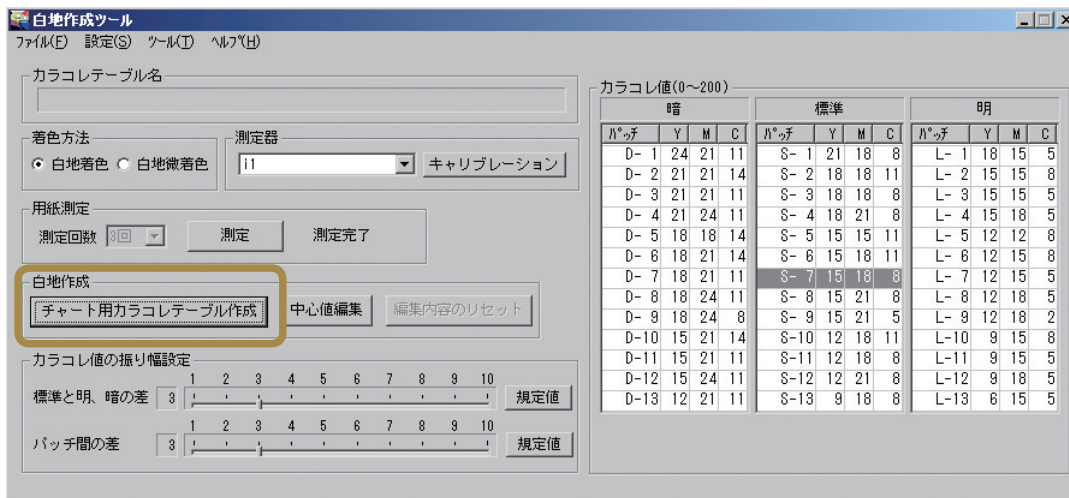
10 【用紙測定】測定回数 で設定をした回数分、用紙を測定器で測定して下さい。

11 測定完了後、メイン画面右に標準の S-7 を中心として暗・標準・明それぞれの振り幅で算出した値が表示されます。

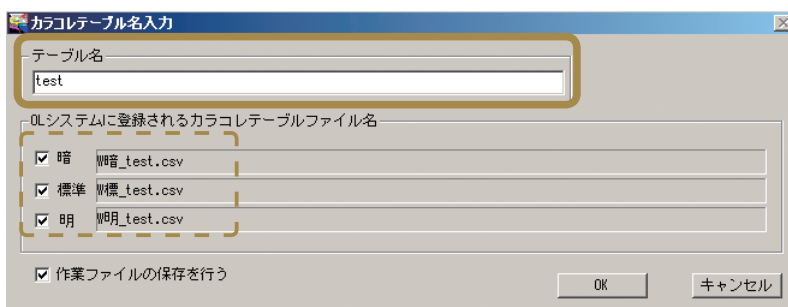


② カラコレテーブル作成

①【白地作成】チャート用カラコレテーブル作成】ボタンを押して下さい。



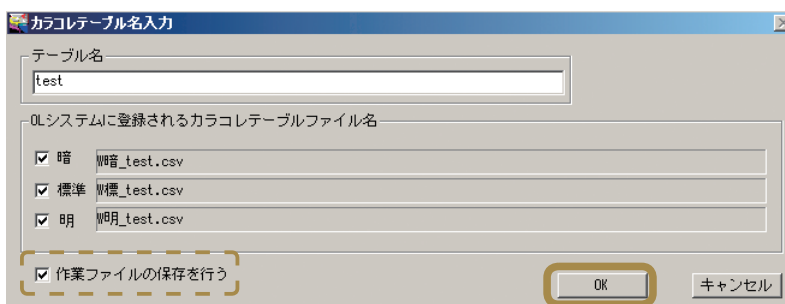
② OL システムに登録するカラコレテーブル名を入力します。
 入力されたテーブル名の前にそれぞれ「W 暗 _」、「W 標 _」、「W 明 _」、
 後ろに「_csv」を付けたファイル名が表示されます。
 また、チェックボックスの ON / OFF で書き出すファイルを選択します。



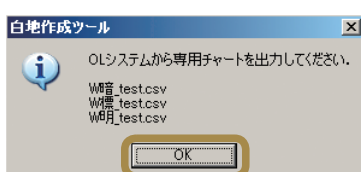
半角換算で 72 文字まで入力
 可能です。
 カラコレテーブル名には以下
 の文字は使用できません。

¥/:*?"<>|

③ カラコレテーブルを作成します。【OK】ボタンを押して下さい。
 また、【作業ファイルの保存を行う】チェックボックスでカラコレテーブルの
 作成後に作業ファイルの保存画面が表示されます。

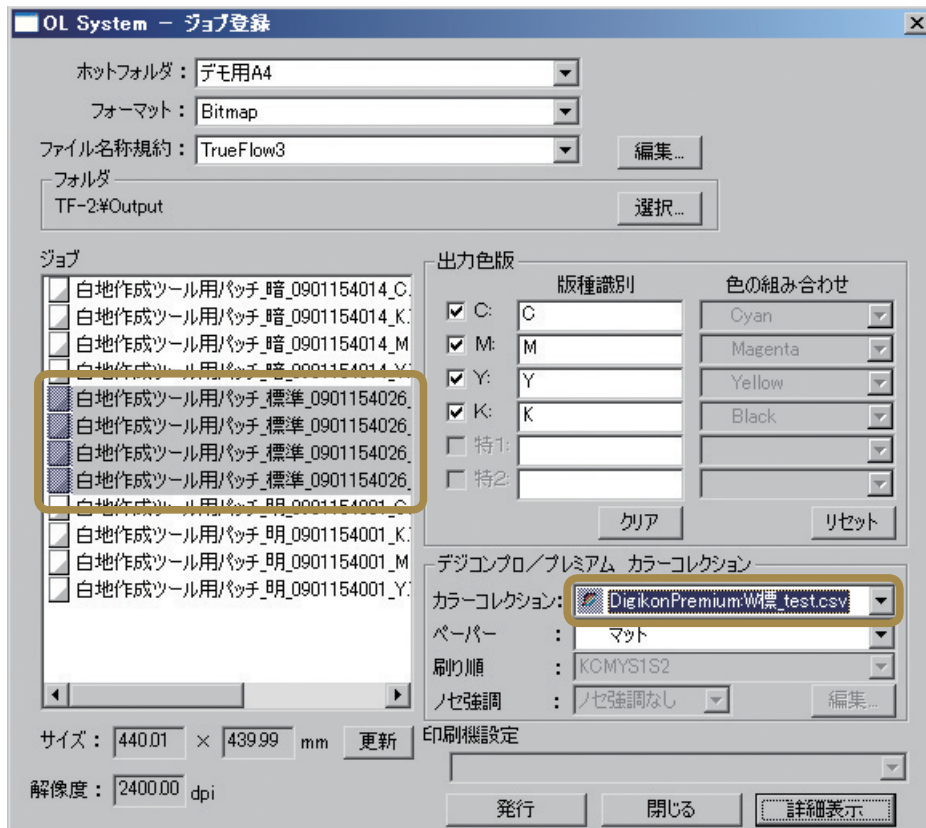


④ カラコレテーブルが作成されました。【OK】ボタンを押して下さい。

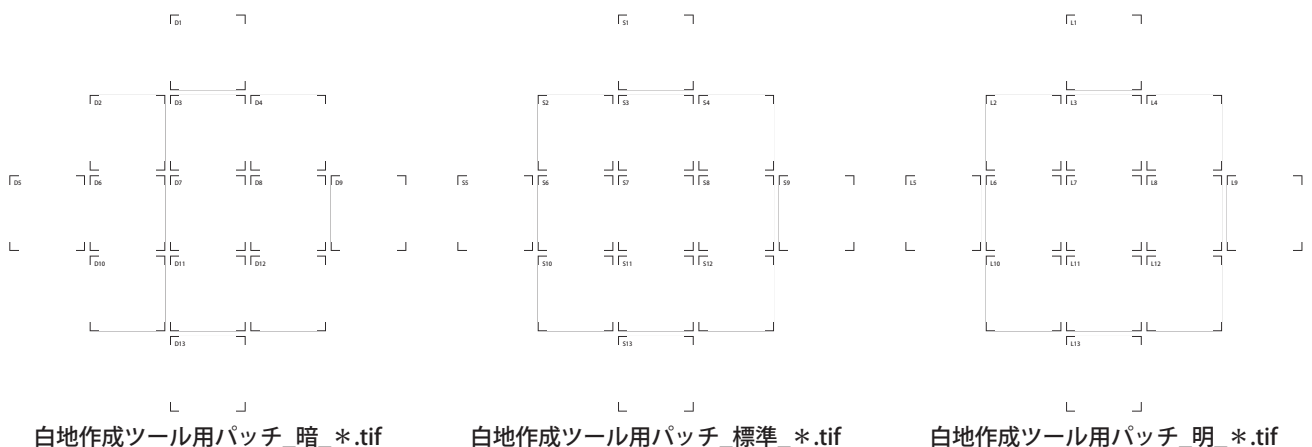


③ パッチの出力

OL System にて白地作成ツール用パッチ（1bittiff）に P.9_② - ④ で作成したカラコレテーブルを当て、暗・標準・明それぞれデジコンを出力します。

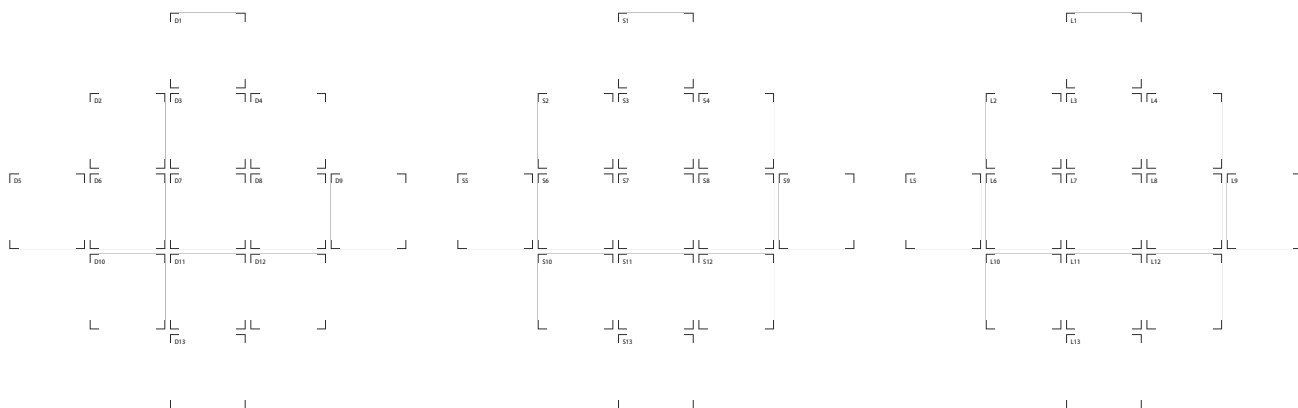


白地作成ツール用パッチ（1bittiff データ）

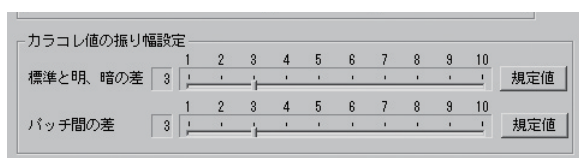


④ 出力結果の確認

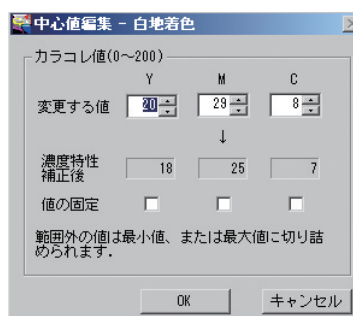
デジコン出力物のパッチの中から適合点を決定します。



適合点がない場合はその中から一番近いパッチを適合点とし、調整を行います。
カラコレ値の振り幅設定 (P.20) や **中心値編集 (P.22)** などを使用して調整を行い、再度出力を行って下さい。



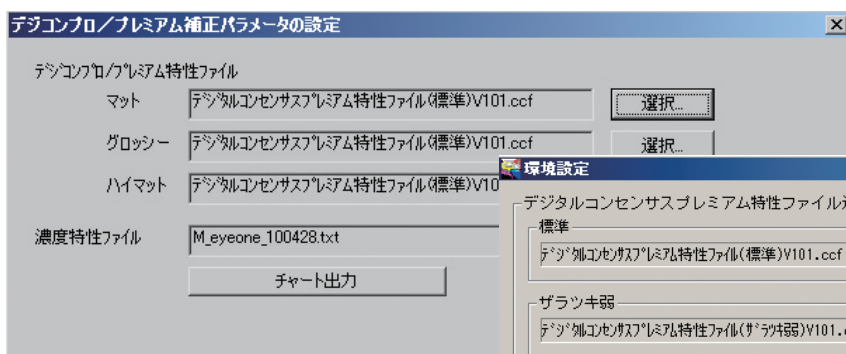
● カラコレ値の振り幅設定



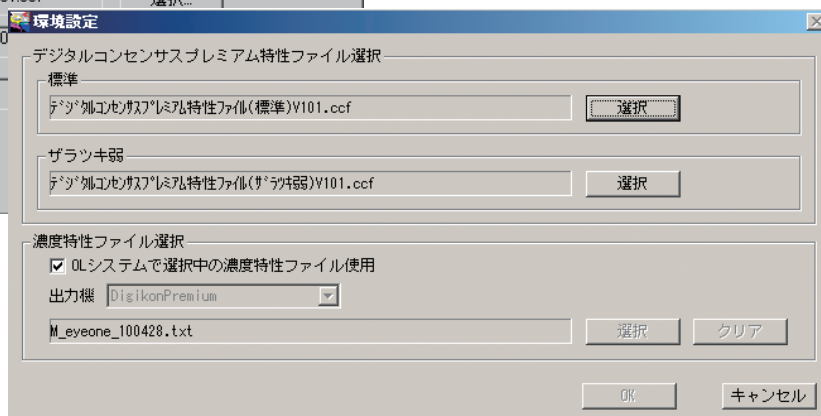
● 中心値編集

⑤ カラコレ値の移植

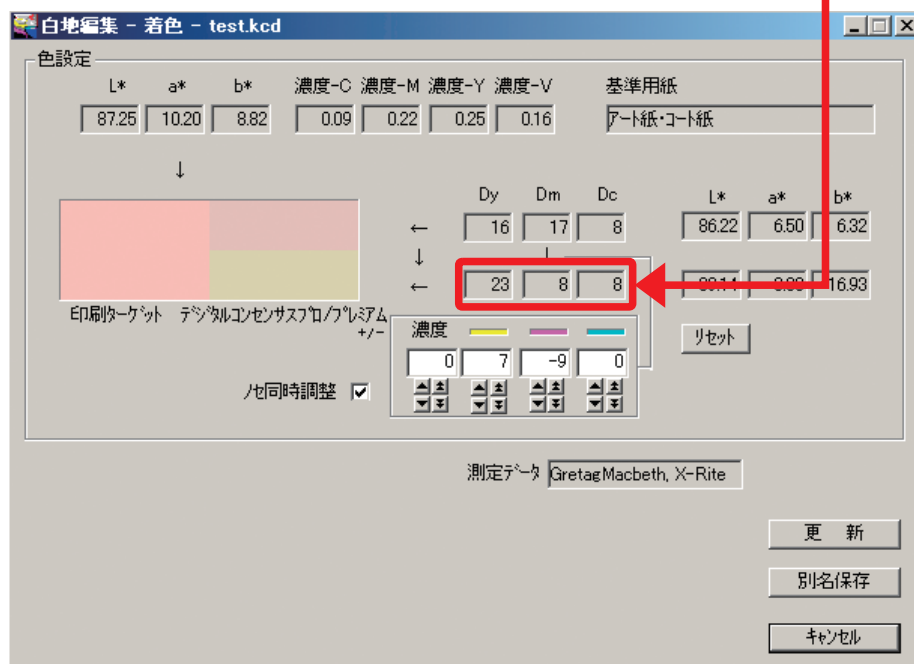
① 白地作成ツールの特性ファイル【設定＞環境設定】と OL システムの特性ファイルが同一であることを確認します。



● OL システム



● 白地作成ツール【設定＞環境設定】



以上で **2. 白地着色の流れ** は終了です。

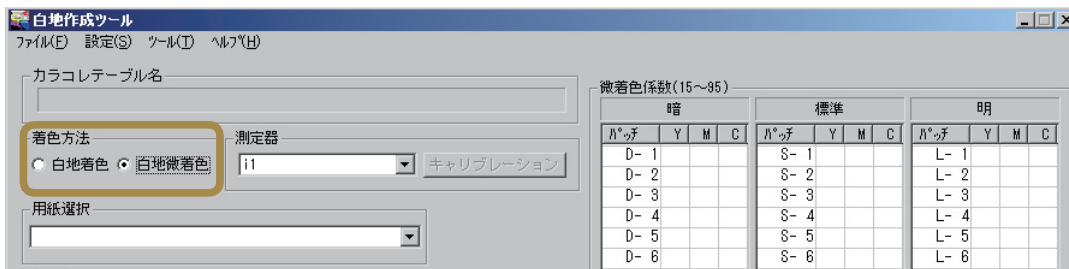
① 白地の選択

① デスクトップの『白地作成ツール』アイコン
白地作成ツールを起動して下さい。

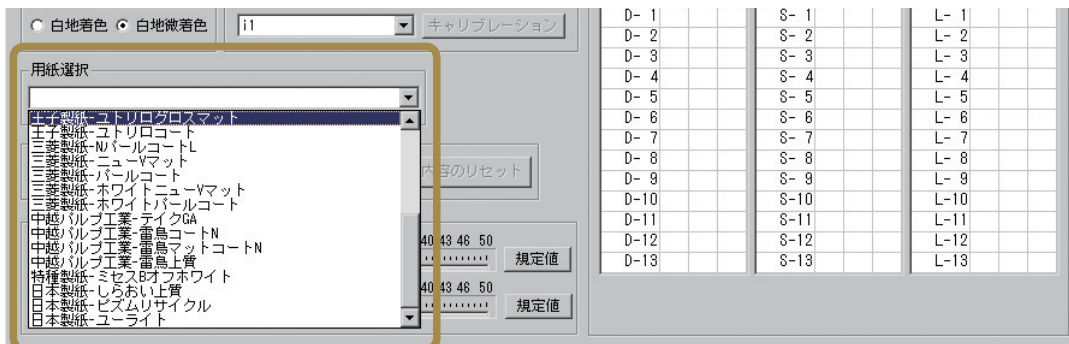


をダブルクリックし、

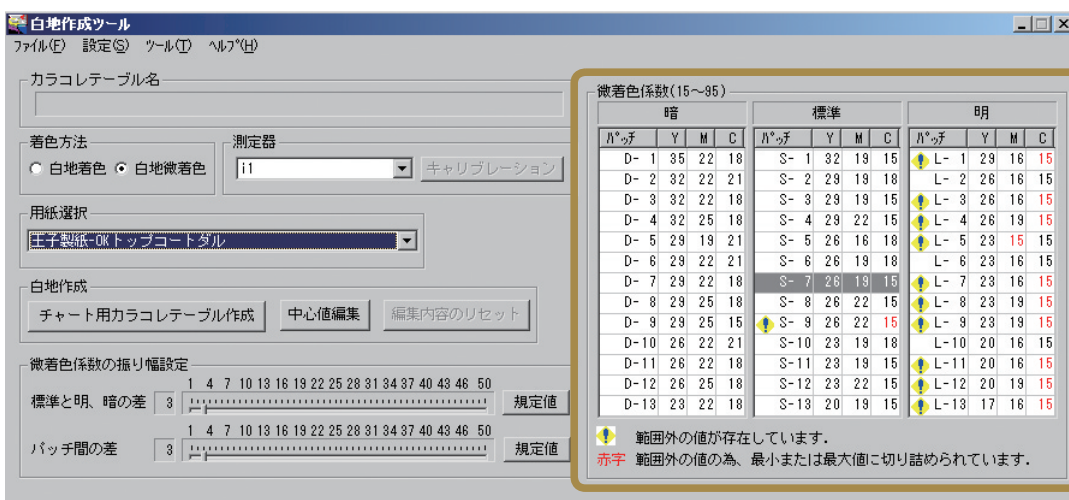
②【着色方法＞白地微着色】を選択して下さい。



③【用紙選択】プルダウンメニュー より用紙を選択して下さい。



④ 選択した用紙の推奨値を標準の S-7 とし、S-7 を中心として、暗・標準・明それぞれの振り幅で算出したカラコレ値（微着色係数）が表示されます。



以降の作業は **2. 白地着色の流れ** と同様です。

P.9 ② - ① ⇒ **P.12** ⑤ - ② の流れで作業を行って下さい。

以上で **3. 白地微着色《用紙選択》の流れ** は終了です。

4. 白地微着色《用紙測定》の流れ

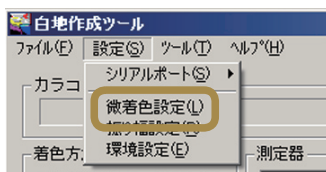
① 白地の測定

- ① デスクトップの『白地作成ツール』アイコンをダブルクリックし、白地作成ツールを起動して下さい。

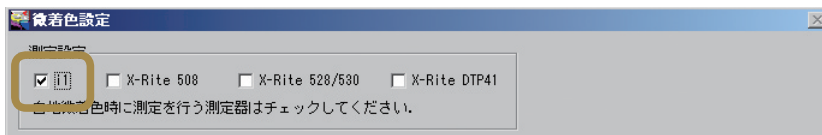


をダブルクリックし、

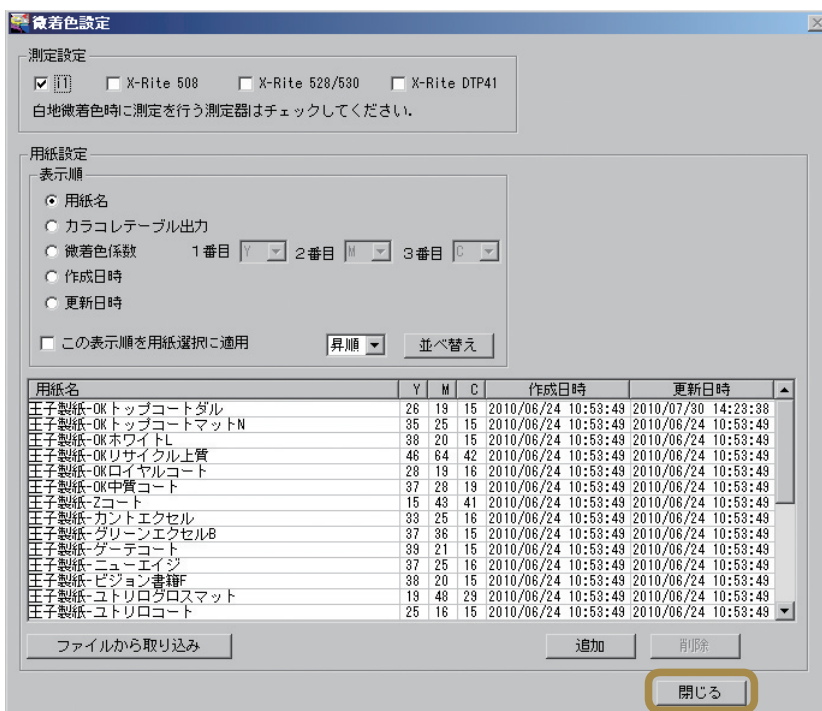
- ② 【設定】>【微着色設定】を選択して下さい。



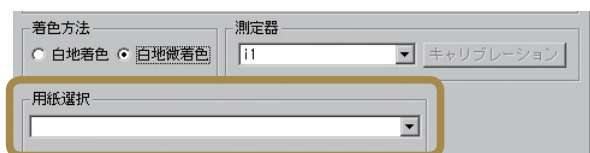
- ③ 使用する測定器にチェックを入れて下さい。



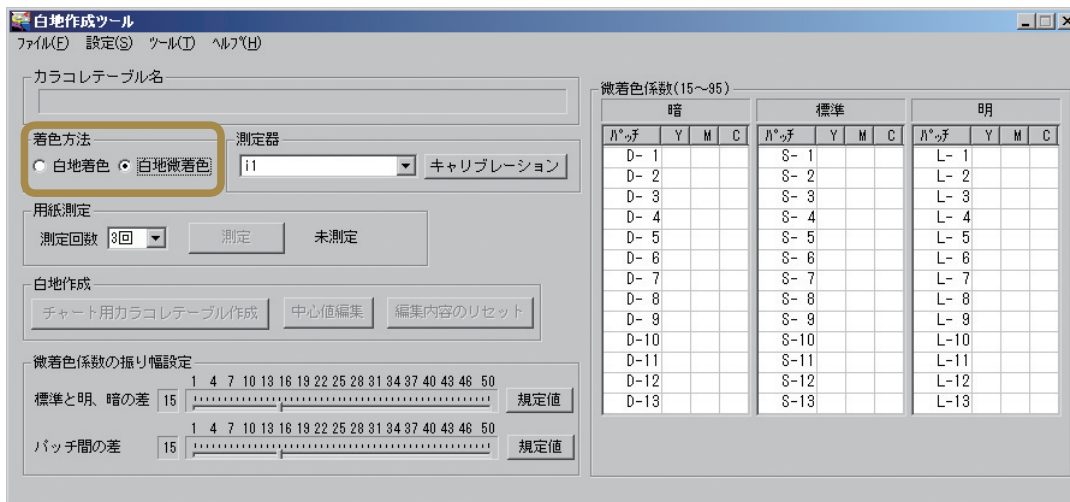
- ④ 【閉じる】ボタンを押して下さい。



メイン画面の『用紙選択』から『用紙測定』へと画面が切り替わります。
『用紙選択』に戻る場合は③にて入力した測定設定のチェックを外して下さい。



5 【着色方法】白地微着色】を選択して下さい。



以降の作業は **2. 白地着色の流れ** と同様です。

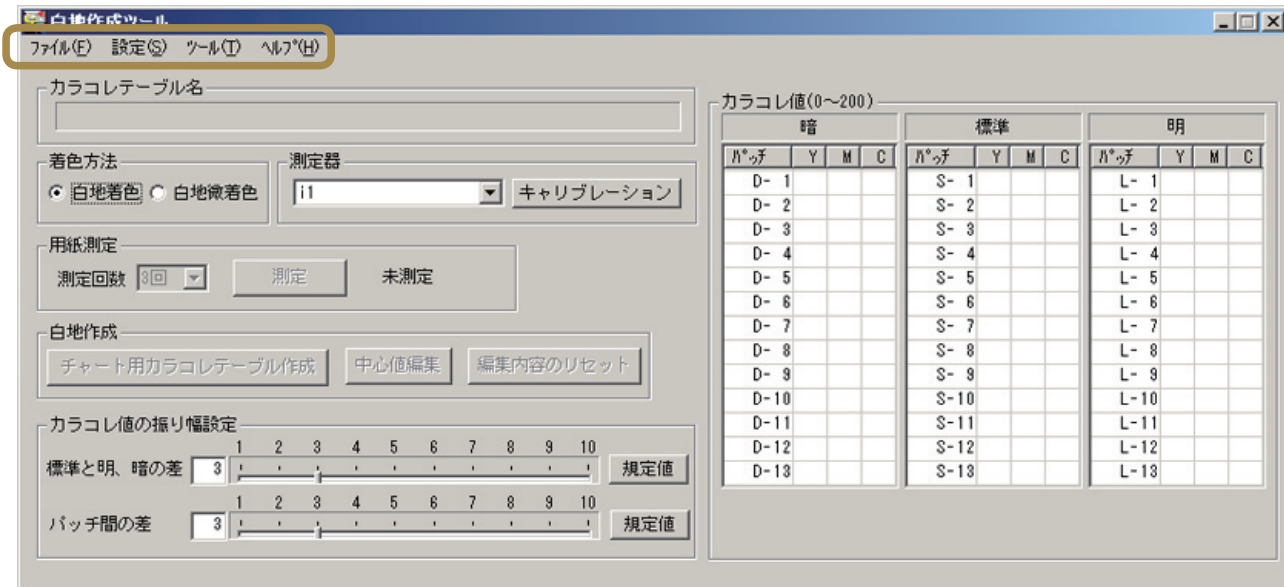
P.7_① - ③ ⇨ **P.12_⑤ - ②** の流れで作業を行って下さい。

以上で **4. 白地微着色《用紙測定》の流れ** は終了です。

4 画面

1. メイン画面

① メニュー



【ファイル】

ファイル(F)	設定(S)	ツール(T)	ヘルプ(H)
新規(N)	Ctrl+N		
開く(O)	Ctrl+O		
保存(S)	Ctrl+S		
別名で保存(A)	Shift+Ctrl+S		
終了(X)	Ctrl+Q		

新規：新規の作業を開始します。

開く：保存した作業ファイルを読み込みます。

保存：作業内容を上書き保存します。

別名で保存：作業内容を別名で保存します。

終了：本ツールを終了します。

【設定】

設定(S)	ツール(T)	ヘルプ(H)
シリアルポート(S)		
微着色設定(L)		
振り幅設定(R)		
環境設定(E)		

シリアルポート：シリアルポートを選択します。RS-232C のポートは存在するポートのみ表示されます。

微着色設定：微着色設定画面（P.19 参照）を開きます。

振り幅設定：振り幅設定画面（P.20 参照）を開きます。

環境設定：環境設定画面（P.21 参照）を開きます。

【ツール】

ツール(T)	ヘルプ(H)
作業ファイル(W)	

作業ファイル：作業ファイルメンテナンスツール画面（P.23 参照）を開きます。

【ヘルプ】

ヘルプ(H)
白地作成ツールヘルプ(H)
白地作成ツールについて(A)

白地作成ツールヘルプ：ヘルプを表示します。

白地作成ツールについて：本ツールのバージョン情報画面を開きます。

2 コントロール

【カラコレテーブル名】

OL システムに登録したカラコレテーブルの名称が表示されます。

【着色方法】

白地着色、白地微着色の選択を行います。

【測定器】

測定器を選択します。『キャリブレーション』ボタンにより測定器のキャリブレーションを行います。

【測定回数】

測定回数を選択します。カラコレ値（微着色係数）の計算は測定回数の平均値より計算します。

【用紙測定】

『測定』ボタンにより白地の測定を行います。

【白地作成】

『チャート用カラコレテーブル作成』ボタンによりカラコレテーブルを OL システムに登録します。
『中心値編集』ボタンにより選択中のカラコレ値（微着色係数）を元に中心値編集画面が表示されます。
『編集内容のリセット』ボタンにより編集内容を破棄し、作業ファイルの読み込み直後の状態に戻ります。

【カラコレ値の振り幅設定】

スライダーによりカラコレ値の振り幅を設定します。『規定値』ボタンにより振り幅を規定値 (P.18 参照) に戻します。

【カラコレ値】

標準の S-7 を中心として暗、標準、明それぞれの振り幅で算出したカラコレ値が表示されます。

【カラコレ値リストのマークと文字色】

! L- 9 15 28 15

!	範囲外のカラコレ（微着色係数）値が存在するパッチ
赤字	上下限值（P.22 参照）を超えているため、上限値、または下限値に切り詰められています
黒字	正常なカラコレ値（微着色係数）

③ 白地微着色のメイン画面（用紙選択設定時）

暗				標準				明			
Δ ^a ₁	Y	M	C	Δ ^a ₁	Y	M	C	Δ ^a ₁	Y	M	C
D-1				S-1				L-1			
D-2				S-2				L-2			
D-3				S-3				L-3			
D-4				S-4				L-4			
D-5				S-5				L-5			
D-6				S-6				L-6			
D-7				S-7				L-7			
D-8				S-8				L-8			
D-9				S-9				L-9			
D-10				S-10				L-10			
D-11				S-11				L-11			
D-12				S-12				L-12			
D-13				S-13				L-13			

【用紙選択】

用紙をプルダウンメニューにより選択します。

また、測定画面にも切り替えが可能です。画面の切り替え方法は P.19 を参照して下さい。

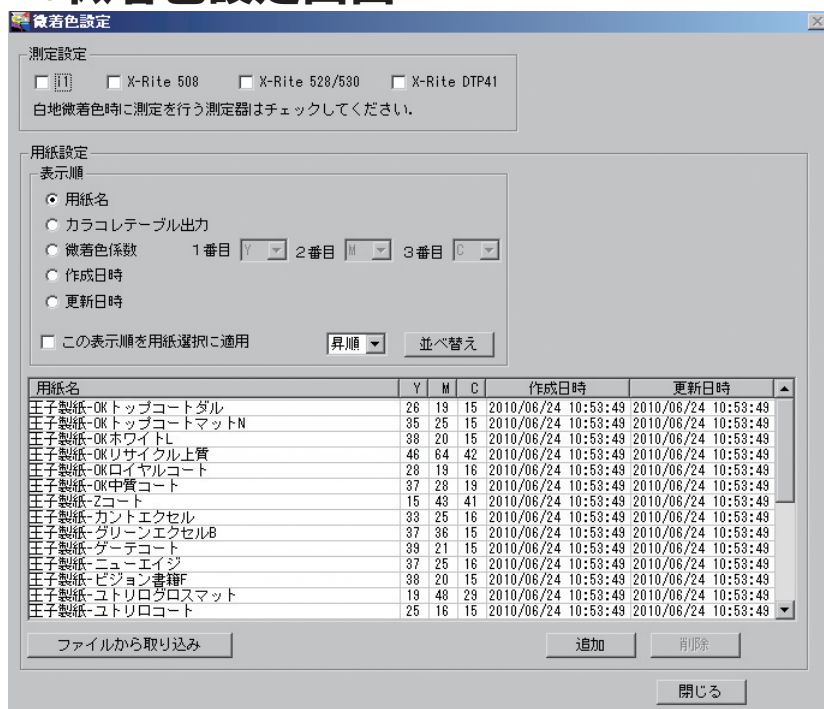
④ 振り幅設定の規定値

【白地着色】

【白地微着色／用紙選択使用時】

【白地微着色／測定器使用時】

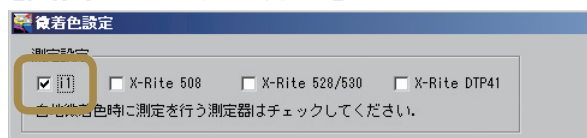
2. 微着色設定画面



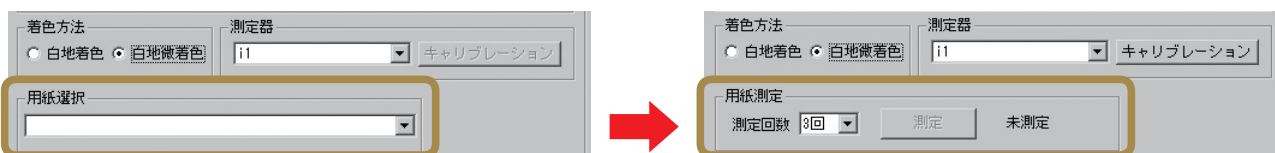
【測定設定】

測定器毎に測定するか用紙選択するかを設定します。デフォルトでは全測定器で用紙選択となります。

【画面の切り替え方法】



【微着色設定＞測定設定】にて、使用する測定器にチェックを入ると…



メイン画面『用紙選択』から『用紙測定』へと画面が切り替わります。

【用紙設定】

表示順：リストの表示順を指定して並べ替えを行います。

この表示順を用紙選択に適用：

ここにチェックを入れると用紙選択のプルダウンメニューにも表示順が適用されます。

昇順・降順：昇順か降順の選択を行います。

並べ替え：リストの並べ替えを行います。

ファイルから取り込み：

追加する用紙をファイルから取り込みます。このとき用紙設定リストのバックアップを作成することができます。追加する用紙を定義したファイルはコニカミノルタ MG より提供するファイルです。

追加：用紙を追加します。

削除：用紙を削除します。

【用紙選択の編集】

編集したい項目でマウスの左ボタンをダブルクリックします。リスト上で項目の編集が行えます。

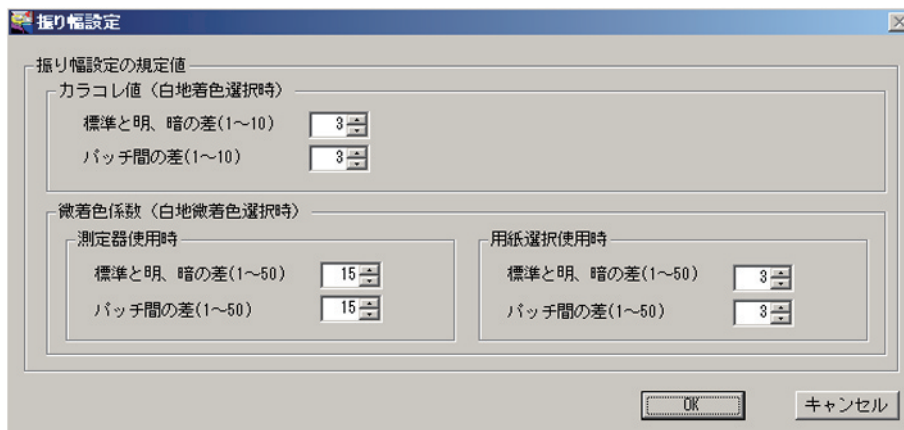
【コンテキストメニュー】

リスト上でマウスの右クリック、またはリストにフォーカスがある状態で『Shift+F10』キーでコンテキストメニューが表示されます。

コピー：用紙をコピーします。



3. 振り幅設定画面



振り幅設定の規定値

カラコレ値（白地着色選択時）

メイン画面の【着色方法】にて【白地着色】を選択している時に使用される振り幅設定の規定値を設定します。

標準と明、暗の差	1 から 10 までの整数を設定することができます
パッチの差	1 から 10 までの整数を設定することができます

微着色係数（白地微着色選択時）

メイン画面の【着色方法】にて【白地微着色】を選択している時に使用される振り幅設定の規定値を設定します。

【測定器使用時】

微着色設定画面の【測定設定】にてチェック **ON** となっている測定器のメイン画面の【測定器】で選択している時に使用される振り幅設定の規定値を設定します。

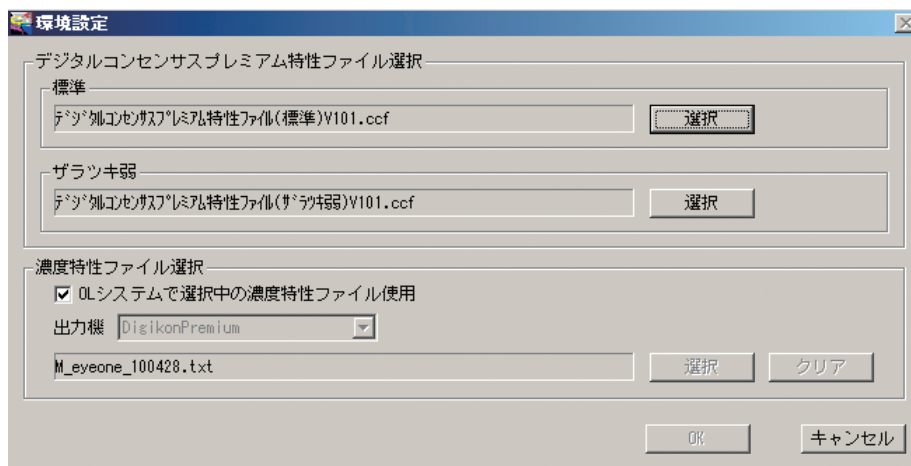
標準と明、暗の差	1 から 50 までの整数を設定することができます
パッチの差	1 から 50 までの整数を設定することができます

【用紙選択使用時】

微着色設定画面の【測定設定】にてチェック **OFF** となっている測定器のメイン画面の【測定器】で選択している時に使用される振り幅設定の規定値を設定します。

標準と明、暗の差	1 から 50 までの整数を設定することができます
パッチの差	1 から 50 までの整数を設定することができます

4. 環境設定画面



デジタルコンセンサスプレミアム特性ファイル選択

【標準】

ファイル名：

標準のデジタルコンセンサスプレミアム特性ファイルのファイル名が表示されます。
白地着色のカラー値の計算に使用します。

選択ボタン：

標準のデジタルコンセンサスプレミアム特性ファイルの選択画面が表示されます。

【ザラツキ弱】

ファイル名：

ザラツキ弱のデジタルコンセンサスプレミアム特性ファイルのファイル名が表示されます。
白地微着色の微着色係数の計算に使用します。

選択ボタン：

ザラツキ弱のデジタルコンセンサスプレミアム特性ファイルの選択画面が表示されます。

※デジタルコンセンサスプレミアム特性ファイルはインストールパッケージに含まれた特性ファイルが初期値として選択された状態となっています。

濃度特性ファイル選択

OL システムで選択中の濃度特性ファイル使用：

OL システムで選択している濃度特性ファイルを使用するかどうかを選択します。

出力機：

OL システムで出力機が複数ある場合、出力機を選択します。

ファイル名：

濃度特性ファイルのファイル名が表示されます。

選択ボタン：

濃度特性ファイルの選択画面が表示されます。

OL システムで選択中の濃度特性ファイルを使用する場合には無効となります。

クリアボタン：

濃度特性ファイルの選択を解除します。

OL システムで選択中の濃度特性ファイルを使用する場合には無効となります。

5. カラコレテーブル名入力画面

【テーブル名】

OLシステムに登録するカラコレテーブル名を入力します。(半角換算で72文字まで)
カラコレテーブル名には次の文字は使用できません。¥/:*?"<>|

【OLシステムに登録されるカラコレテーブルファイル名】

入力されたテーブル名の前にそれぞれ「W 暗_」、「W 標_」、「W 明_」、後ろに「_csv」を付けたファイル名が表示されます。

「暗」「標準」「明」それぞれのチェックボックスのON / OFFにより、作成するカラコレテーブルファイルを選択することができます。

【作業ファイルの保存を行う】

チェックボックスをONにするとカラコレテーブル作成後に作業ファイルの保存に移ります。

6. 中心値編集画面

下限值 15 で出力されます。

【カラコレ値(微着色係数)】

変更する値：Y、M、C それぞれのカラコレ値（微着色係数）を変更します。

濃度特性補正後：濃度特性ファイルで補正したカラコレ値（微着色係数）が表示されます。

【上下限值】

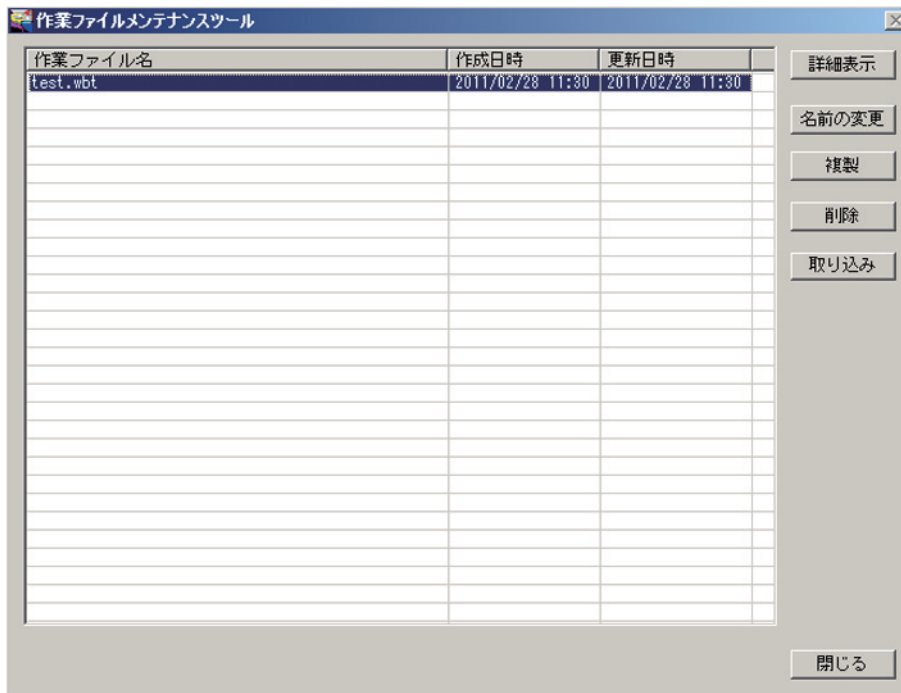
着色種別	下限值	上限値	上下限判断
白地着色（カラコレ値）	0	200	濃度特性補正後の値で判定
白地微着色（微着色係数）	15	95	濃度特性補正前の値で判定

【値の固定】

振幅設定を適用しないですべてのパッチで同じ値を使用する場合、チェックを付けます。

7. 作業ファイルメンテナンスツール画面

① 作業ファイルメンテナンスツール画面



【作業ファイル一覧】

ヘッダのマウスボタン左クリックで昇順、または降順のソートが可能です。

作業ファイル名：作業ファイルのファイル名が表示されます。

作成日時：作業ファイルの作成日時が表示されます。

更新日時：作業ファイルの最終更新日時が表示されます。

【コントロール】

詳細表示：作業ファイルの詳細画面（P.24 参照）が表示されます。

名前の変更：作業ファイル名の変更を行います。

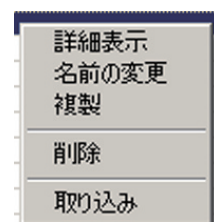
複製：作業ファイルの複製を行います。

削除：作業ファイルを削除します。削除した作業ファイルはゴミ箱に移されます。

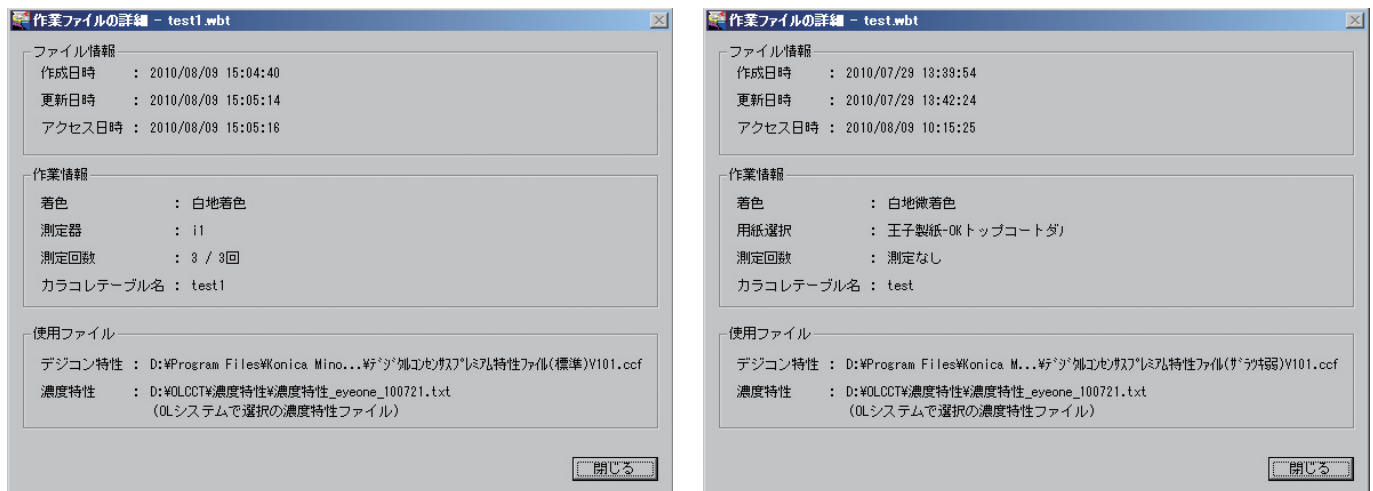
取り込み：作業ファイルを読み込みます。

【コンテキストメニュー】

リスト上でマウスの右クリック、またはリストにフォーカスがある状態で『Shift+F10』キーでコンテキストメニューが表示されます。



2 作業ファイルの詳細画面



【ファイル情報】

作成日時: 作業ファイルの作成日時が表示されます。

更新日時: 作業ファイルの最終更新日時が表示されます。

アクセス日時: 作業ファイルの最終アクセス日時が表示されます。

【作業情報】

着色: 白地着色か白地微着色が表示されます。

測定器: 白地を測定した測定器の名称が表示されます。

用紙選択: 選択した用紙が表示されます。

測定回数: 測定回数が表示されます。

カラコレテーブル名: OL システムに登録したカラコレテーブル名が表示されます。

【使用ファイル】

デジコン特性:

カラコレ値（微着色係数）の計算に使用したデジタルコンセンサスプレミアム特性ファイルのファイル名が表示されます。

濃度特性:

カラコレ値（微着色係数）の計算に使用した濃度特性ファイルのファイル名が表示されます。